

まちづくりに関する提言書(概要版)

平成 29 年 10 月

まちづくり新鮮組

現 状

- 総人口は昭和 25 年の 31,241 人をピークに減少。平成 22 年には 26,765 人。(国勢調査)
- 年少人口(0~14 歳)、生産年齢人口(15~64 歳)の割合は減少を続け、老年人口(65 歳以上)の割合は増加。
- 10 代後半から 20 代前半の転出超過が顕著であり、転入超過となるのは 50 代後半から。



子育て世代である若者層から那須町が選ばれていない

課 題

【住環境整備】

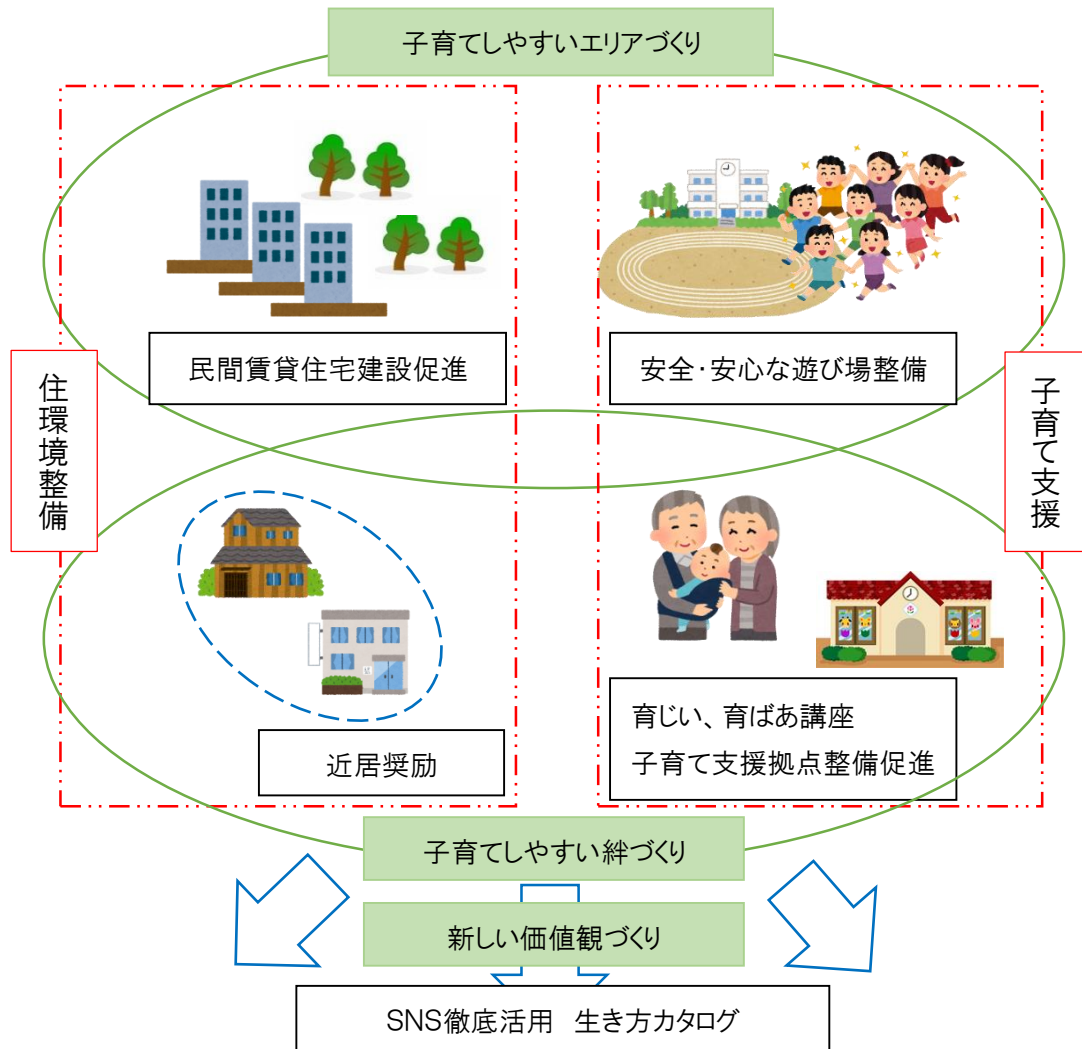
- 貸家について県内他市町と比較すると、既存、新築とも大幅に少ない。
- 貸家の総数に占める公営の貸家割合が高く、住環境の整備、維持管理に係る公費支出割合が大きい。

【子育て支援】

- 設備が充実している公園が少なく、屋内の遊び場がない。
- 子育てに関する負担が大きく、子育て世代がより働きやすくなる仕組みづくりが必要。

提言全体コンセプト

- 住環境整備と子育て支援策の充実を一体的に図ることで、子育て世代の移住定住を促進する。



子育てしやすいエリアづくり

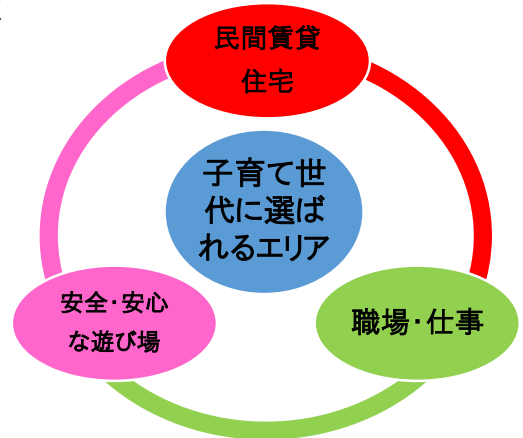
【基本的な考え方】

- 生産年齢人口の転出超過が顕著な一方、他市町村に居住する約5千人が那須町で働いており、通勤流入超過である。
- 町内企業や観光施設等の近隣に民間賃貸住宅の建設を促すとともに、安全・安心な遊び場を整備し、子育て世代に選ばれるエリアをつくる。

【展開する事業】

- 民間賃貸住宅建設促進事業
民間事業者による子育て世代向けの賃貸住宅建設を促進。
- 安全・安心な遊び場整備事業
全天候型の遊び場整備、既存公園の整備。

【事業イメージ図】



子育てしやすい絆づくり

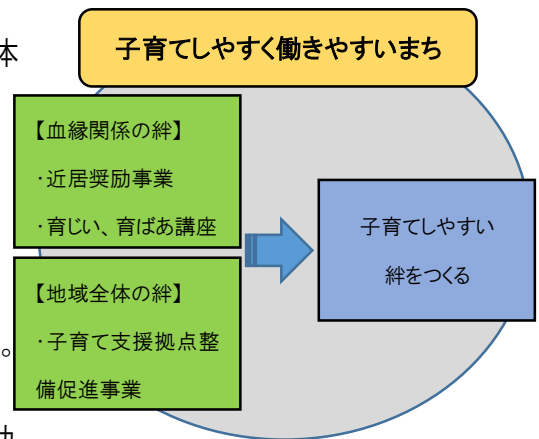
【基本的な考え方】

- 世代間での助け合いを促進する。（血縁関係の絆）
- 地域全体で子育てする機運の醸成を促進する。（地域全体の絆）

【展開する事業】

- 近居奨励事業
祖父母と近居し、子育てを行う父母に奨励金を交付。
- 育じい・育ばあ講座
祖父母や子育てに関心がある者に対し、子育て講座を開催。
- 子育て支援拠点整備促進事業
子育て支援に関する事業を行う民間事業者等に費用を補助。

【事業イメージ図】



新しい価値観づくり

【基本的な考え方】

- 那須町の良いところ、住みやすいところなどの情報を SNS で発信する。
- 素敵な那須暮らしをしている町民の生き方を冊子にまとめ、町外へ発信することで新たな価値観を創造する。

【展開する事業】

- SNS 徹底活用事業
SNS を徹底活用し、子育てや移住定住の情報を発信。
- 生き方カタログ
那須での暮らしを提案し、新しい価値観を創造するため「那須の生き方カタログ」を作成。

【事業イメージ図】

